

平成30年度「学生ものづくり・アイデア展」報告

平成30年度は12月1日に新潟大学において第16回「学生ものづくり・アイデア展 in 新潟」が開催された。この「学生ものづくり・アイデア展」は、新潟大学、富山大学、長崎大学の3大学工学部の学生グループが自主的に製作した作品を発表する場として、平成15年度に開始されたものである。今年度は、新潟大学より13チーム、富山大学より7チーム、長崎大学より2チームの全22チームが参加して成果を競い合った。以下に当日のプログラム概要を示す。

- (1) 開会式 (於：101 講義室) (13:00~13:15)
開会の辞：鈴木 孝昌 (新潟大学工学部附属工学力教育センター長)
開会の挨拶：小椋 一夫 (新潟大学工学部長)
- (2) 学生ものづくり・アイデアコンテスト (13:15~16:30)
◎出展作品の概要説明 (於：101 講義室) (13:15~14:30)
(休憩) 15分
◎ポスターセッション (於：ロビー・ラウンジ・203 講義室) (14:45~15:45)
・特設展示 工学力教育センター国際教育部門：G-DORM の活動報告
文部科学省 大学の世界展開力強化事業
※15:30~集計開始
(休憩) 15分
- (3) 閉会式 (於：101 講義室) (16:00~16:30)
3大学による講評
長崎大学工学部工学教育支援センター長
富山大学工学部長
新潟大学工学部長
学生ものづくり・アイデアコンテストの結果発表および表彰
閉会の辞：坪井 望 (新潟大学工学部附属工学力教育副センター長)

全チームが作品についてプレゼンテーションとポスターセッションを行い、作品の理解を深めようよう展示スペースに訪れた多くの参加者とディスカッションした。

結果として、お茶園の霜害対策として利用している防霜ファンにかかるコストや騒音の課題を解決するため、新たに噴流装置を開発した長崎大学の「噴流装置によるお茶園改良計画」チーム (担当学生：檜林龍太さん、原田怜さん、アドバイザー教員：社会環境デザイン工学コース 鈴木誠二准教授、課題提供企業：EDS 環境機器開発研究所) が銀賞を受賞した。コストが半分以下となるのに加え、騒音も大きく軽減でき、さらには少ない動力で多量の空気を吐出するため非常に高い防霜効果を発揮することができるようになるという効果が評価された。また、長崎大学の「しぶとく強い大戦コマの開発」チーム (担当学生：坂口貴琉さん、佐藤滉隼さん、中園貴大さん、アドバイザー教員：機械工学コース 扇谷保彦准教授、課題提供機関：工学教育支援センター 創

造工房)は、特別賞を受賞した。回転に安定性があり、他のコマとぶつかったときに当たり負けせず、長い時間回り続けることができる大戦コマの開発に取り組んだことが評価された。

今回は、本学から参加した2チームすべてが受賞という結果を残したことは、本学学生が制作した作品の質の高さと着想の豊かさを示すものであり、次年度以降の創成プロジェクトの実施に対するモチベーションが高まった。また、新潟大学、富山大学との交流もでき、大変有意義な場となった。



【銀賞受賞】「噴流装置によるお茶園改良計画」チームの様子



【特別賞受賞】「しぶとく強い大戦コマの開発」チームの様子